

大会名 Competition	第77回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会兼58回NHK杯大会 女子決勝			
NO. B-1	Year	Month	Day	Time
	2022	年	6月	26日 10:00
場所 Place	CNAアリーナ★あきた			



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
柴田学園		湯沢翔北
85		60
○		●
	22 1st 17 18 2nd 15 23 3rd 13 22 4th 15 OT	

Crew Chief 阿部 ちひろ (岩手)
 Umpire 1 石河 宏美 (福島)
 Umpire 2 福沢 佳乃子 (青森)
 テーブル・オフィシャル: Table officials
 秋田商業高校女子バスケットボール部

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		古坂	みなみ	-	-	-	-	-	4	×	小熊	桃華	0	0	0	0	1
5	×	石田	侑真	9	0	4	1	0	5	×	鈴木	杏梨	9	1	3	0	4
6	×	佐々木	杏花	11	1	2	4	3	6	×	小田原	未呼	9	1	3	0	2
7	×	秋谷	詩	17	0	7	3	3	7	×	佐々木	凜	12	3	1	1	1
8	/	田澤	潤	4	0	2	0	0	8	×	大沼	華楓	6	1	1	1	2
9	×	蒔苗	結衣	22	2	8	0	2	9	/	三浦	柚月	0	0	0	0	1
10	/	工藤	すみれ	3	0	1	1	0	10	/	高橋	瑠羽	8	0	4	0	2
11	×	直町	紗江	13	3	1	2	1	11	/	猪股	海恋	0	0	0	0	1
12		上口	凜	-	-	-	-	-	12	/	佐藤	愛華	13	1	4	2	4
13	/	齋藤	和	0	0	0	0	0	13		田口	青遠	-	-	-	-	-
14	/	佐々木	瑠花	6	2	0	0	1	14	/	森屋	かりん	3	1	0	0	0
15		奥口	奏未	-	-	-	-	-	15		坂本	萌依	-	-	-	-	-
16		佐藤	芽衣	-	-	-	-	-	16		奈良	心海	-	-	-	-	-
17		赤坂	涼花	-	-	-	-	-	17		山本	亜季	-	-	-	-	-
18		長内	弥玖	-	-	-	-	-	18		鈴木	琉那	-	-	-	-	-
コーチ		小野	尚樹						コーチ		樋渡	真					
Aコーチ		三浦	沙紀						Aコーチ		大坂	操					
合計				85	8	25	11	10	合計				60	8	16	4	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝戦は、ともに圧倒的な強さで勝ち上がった、連覇を狙う湯沢翔北（秋田①）と初優勝を目指す柴田学園（青森①）との対戦となった。

第1Q序盤、柴田学園は#7秋谷がポストプレイやドライブなどで得点を重ね、先行する。流れを変えたい湯沢翔北は#10高橋、#12佐藤を投入して速い展開に持ち込もうとするが、柴田学園は相手ディフェンスのローテーションの隙を突いてゴール下に次々とパスを通し、リードを保つ。湯沢翔北は#12佐藤のフローターや#6小田原の3ポイントで2点差まで詰め寄るが、柴田は途中出場の#14佐々木(瑠)がお返しの3ポイントを沈め、22-17と柴田学園がリードして第1Qが終了。

第2Q、湯沢翔北は激しいディフェンスで相手のターンオーバーを誘発し、#10高橋の連続得点で23-26と3点差まで詰め寄る。柴田学園は#7秋谷が3ファウルとなりベンチに下がるが、そこから固いチームディフェンスで粘り、要所で#11直町、#6佐々木(杏)が3ポイントを決めて40-32と再びリードを広げる。

第3Q、柴田学園は立て続けにスティールから得点し、開始1分で45-32と突き放す。湯沢翔北はタイムアウトで立て直そうとするが、リバウンドで優位に立つ柴田学園は素早いトランジションから得点につなげ、じわじわとリードを広げる。湯沢翔北のファウルトラブルに乗じて柴田学園はフリースローで着々と加点、63-45と更にリードを広げる。

第4Qに入っても湯沢翔北は柴田学園のチェンジングディフェンスを攻めあぐみ、勢いに乗ることができない。焦りの見える湯沢翔北に対し、全員がオールラウンドな動きを見せる柴田学園はディフェンスの的を絞らせず、落ち着いたパス回しからバランスよく得点を重ねる。試合を通してペイントエリアの攻防で優位に立った柴田学園が85-60で勝利、初優勝を飾った。